

Come back! みんなで雌阿寒岳登山隊!

冒険王だよりは、冒険王での子ども達の活躍をご家庭にお伝えします。ご家庭で、どんなことが楽しかったか、苦労したかなどについて、お子さんとお話してみてください。

第2回目の冒険王「Come back! みんなで雌阿寒岳登山隊!」を7月12日(土)に開催しました。今回はオンネトー展望台コース(9名)、6合目コース(14名)、山頂コース(10名)の3つのコースに分かれ、子どもたちは各コースの目標に向けて切磋琢磨し、楽しく登山活動をしました。

## △活動説明 → 雌阿寒岳へ出発△

はじめに楽しく安全に登山活動ができるよう、登山のマナーや注意点を確認しました。子どもたちは、初めての登山に緊張していたり、楽しみにしている様子でした。スタッフ



紹介や荷物確認の後は、バスと車に分かれ雌阿寒岳へいざ出発!

## △展望台コース登山記録△

子どもたちの体力が思っていた以上にあり、元気に登る姿が印象的でした。傾斜の激しい下り坂や顔の高さにある枝など危険な箇所が多々ありましたが、お互いに助け合い、励まし合いながら進み、全員が目標地点に到着することができました。帰りの車では、疲れて寝ている子どもが多く、全力を出し切った様子でした。



## △6合目コース登山記録△

1~2合目は急勾配が多く、弱音を吐いている子どもが多かったです。徐々に足の運び方や段差に慣れ、順調に登ることができました。5~6合目付近に差し掛かると、なかなか到着しないことへの苛立ちや不満の声が上がっていましたが、子どもたちの明るさと助け合いのおかげで目標の6合目に到着す



順調に登ることができました。5~6合目付近に差し掛かると、なかなか到着しないことへの苛立ちや不満の声が上がっていましたが、子どもたちの明るさと助け合いのおかげで目標の6合目に到着す

ることができました。壮大な景色を目にすると、子どもたちの表情は一転し、疲れも忘れ絶景を楽しんでいました。下山の際はお互いを気遣いながら進んだことで、無事に帰ってくるすることができました。



## △山頂コース登山記録△

とても体力がある子どもが多く、終始粘り強く登っていました。特に7合目付近は足場が砂状になり、登る際に足が取られうまく進めない状況でしたが、お互いに励まし合いながら一歩一歩前に進み、途中で立ち止まりながらも、全員が自分の力で登頂することができました。下山中は疲れの影響もあり、滑って転倒する子どももいましたが、大きなケガや事故なく、みんなが笑顔で終えることができました。



登る際に足が取られうまく進めない状況でしたが、お互いに励まし合い



## △最後に△

今回の雌阿寒岳登山を通して、困難を乗り越える姿から子どもたちの成長を感じ、登山前と後では一皮むけたようでした。ぜひ、成長した子どもたちの姿を感じていただけたらと思います。

